

学会名称を想う



山口 栄輝
九州工業大学
大学院工学研究院
建設社会工学研究系
副学長・教授

最近、アジア土木学協会連合協議会 (ACECC) など、土木学会の国際活動に参加させていただいている。時折、活動報告を書くが、しばしば「今回の参加は土木学会、アメリカ土木学会、韓国土木学会、・・・」となり、筆が止まる。日本の土木学会の日本語名に、国名が入っていないので、妙な具合なのである。そこでやむを得ず、「今回の参加は日本の土木学会、アメリカ土木学会、韓国土木学会、・・・」と書き直したりするが、釈然としない。「土木学会」が出てくる度に「日本の土木学会」と書くことになる。土木学会の英語名は Japan Society of Civil Engineers であり、日本語名と対応していないのも気になる。日本語名には「日本」、また「工」も欠けている。

日本工学会には、96の工学系学協会が加盟している¹⁾。そのうち、名称に日本を冠する学協会は51、半数を若干超える程度である。しかしながら、英語名を見ると、Japan を使用している学協会が82、Japanese が9、合わせると全体の95%に上る。世界を意識すると、名称に国名が必要になってくる。

工学会と称している学協会は意外と少なく18に過ぎない。ただし、土木学会と関係の深い地盤分野、コンクリート分野の学会は、地盤工学会、日本コンクリート工学会であり、「工学会」を用いている。ある時期、土木工学を扱う大学の学科名の改称が進行し、「土木工学科」と称する学科が激減した。しかし、現在でも土木工学科あるいは土木工学を含む学科名をもつ大学は10校程度ある。中には、土木工学科を復活させた大学もある。一方、「工」をつけずに、「土木学科」とする大学は皆無である。専門分野は「土木工学」であり、「土木学」を用いることはない。土木学会の名称が、「土木工学会」であってもよいのではないかと思う。なお、建築分野では、名称に「工」を用いないのが標準のようである。分野名は「建築学」、学会は「日本建築学会」、大学の学科名は「建築学科」である。日本建築学会の英語名は「Architectural Institute of Japan」であり、Engineers、Engineeringなどの用語は用いられていない。

朝日新聞に建築家の安藤忠雄氏の語りが連載されていた。2017年10月16日の紙面には、1965年に世界の名建築を見るため旅に出たが、出発に際して「水杯で送り出してくれましたね」とある。1965年、日本からの出国者数は158,827人。それが、2015年には16,213,789人に増加している。実に102倍である。筆者が勤務するのは、1学年が1,000人程度の小さな大学であるが、2016年度の海外派遣学生は500人を超えている。私の研究室の学生も、昨年度2名、今年度3名が海外インターンシップに出かけたが、水杯など聞いたことがない。訪日者数の伸びも著しい。1965年には366,649人であったものが、2015年には19,737,409人、54倍の伸びである。日本で働く外国人も100万人を超えた。50年前とは様変わり、隔世の感を禁じ得ない。当然、海外との交流も非常に活発になっている。筆者の大学が有する海外の大学との交流協定は100をはるかに超え、毎月新たな申請がある。土木学会の海外学協会との協力協定締結は31に上る。ACECCの会員も13か国の学協会に及び、定期的に年2回の理事会を持つ。

土木学会は、1914年11月に社団法人として設立された。安藤氏が渡航した年を、さらに50年さかのぼる。当時の土木技術者の海外交流は詳らかでないが、極めて限定されていたことは間違いないであろう。そのような社会状況下であれば、国名を含まない「土木学会」という名称で、何ら不便はなかったと想像される。

100年の時を経て、世はまさにグローバル化の時代である。押し寄せるグローバル化の高波の中で、日本の土木学会がしっかりとアイデンティティを保つためには、日本語名にも「日本」を含み、名称を国際化するのも一考に値するかと思う。日本語で海外との交流を論じる機会も、確実に増えている。もはや英語名にだけJapanを有して事足りる時代ではない。土木工学は、AI、IT、ロボット、自動車などの分野と異なり、全世界的に華やかな脚光を浴びる技術を提供することは多くない。それでも社会に大きな貢献をしていることは疑いの余地がなく、工学の重要分野であると自負している。そのことに誇りをもつため、学会名に「工」があればとも思う。

「土木学会」という名になじみ、4文字という簡潔さも好ましく思っている。その上で、改称に思いを馳せる。これもグローバル化がなせる業かと思いつつ。

参考文献

- 1) 日本工学会正会員 (学協会)
<http://www.jfes.or.jp/member/>